

18歳プラス



増田、バックンの各氏（
月2日、東京府下代田区）

学ぶ 磨く 育つ

座談会 若者へのアドバイス

今回も危機の時代を生きる若者へのメッセージを贈ります。ジャーナリストの池上證彦さん、同じく畠田リヤさん、バックンの愛称で知られるタレントのパトリック・ハーランさんに、人生の先輩として体験やドバイスを図きました。（文中敬称略）

——バックンは日本帰国が25年以上になります。学校の学び方にについて気づいたことはありますか。

——バックン、「私の子どもは小さいころから英語話をしています。でも、人学す

べットから学はないといけない。理解度や認知度に合いませんか。」

——畠田さんは海外での育成制度を取材しています。日本に参入になるうなうと考えていました」

「『新型コロナ禱告』を取材したことがあります。小学校の入学前子どもたちに日本でも9月入学を考えはどうでしょう。飛び級とか個人差に応じた教育制度をもっと取り入れてもよいのではないか」とおっしゃいます。上の年進むことも大事だけれど、と音には踏みとどまっています。

日本にも参考になる手法でジンは電球を開発したと増田「感染症や自然災
教ではないかと思います」べき、一説によれば、使える者だけなく、人生の様々
—若者から「新しい」素材をみつけるために一方な出来事というのではなくして初めて自分の問題といふに迷惑して失敗するのが回の失敗を繰り返したりと、これまで一度も初めて自分の問題といわれます。記者から数多くの失敗について問われます。乗り越えられそうもない
池上「人生で失敗しない『それは失敗じゃない。使いたいにぶつかったときは、
いようにするには、若いと見えないものを見つける』と成功している」という趣
味にたくさん失敗してね」という趣とも大切です。そこで次へ
じことです。ついにここから「前の発言をしたそばで」の一步を考えればよいのです
されませんが、それが後に「私たちほ試行錯誤します」

同じ失敗を繰り返さないから生きている。先輩の失敗を学ぶ」とだつて生き代が終わるやい世の中が大
きに生きています。逃げては通れないのです。社会による反省があるから人生を生き変わる可能性があります
出でからだと自信を失う「歩む」とができるのだと思。それは歴史を学ぶとよ
うになりますがねません」
これが「あなたがおもたし」とお話をさせ
ることが重要なのでしよう。バックン「癡情王の工
事とになりかねません」
ください。

池上 「日々の事じのなかで、じつじつと何かを考える憩憩の時間をつくりてみませんか。世界には必ずや貧困のために学校へ来ない若者がたくさんいるのです。この地域にはそんな世界があるのだといふことを想像しながら学んでほしいと思います」

失敗は成功の消去法／立ち止まりも大切

失敗は失敗ではなく成功への消去線だと想えれば、いのではないでしょうか? 一改め若者へ薦製し知識や経験の引き出しをもぐわがります。しまに不安功への消去線だと想えれば、ど、そのことを頭に入れて

卷之三

18歳プラス

若者たちへ

233

学校を卒業して働き始めて東京を案内した
ことがあります。12月の
年末商戦を迎えて、東京の
街に華やかなクリスマス
イルミネーションが脚
立っていました。街がにぎ
やかで、その賑わいがうれしかったです。
以前、中東取材でお世
話を聞いたヨルダン人が
あるクリスマスが盛り上
がるのを見て、その華や
かさに感動しました。

学ぶ 磨く 育つ

日本の文化や歴史



地上さんは「話せるようになるには、まず情報を整理し、言葉にしてみることが大切」と強調した。

外国人との会話の糸口に

る基本的な教義とどう結びついています。

かるい「んは舞じ」かも」を考えてみる。その舞で